

奥山眞佐子ひとり芝居

はじめて一葉が文学史に登場した作品

大づごもり

原作：樋口一葉
脚本：英次ともゑ
演出：鈴木龍男

大金持だが使用人に冷たい山村家に住み込み奉公のお峰（奥山）は、大恩ある伯父一家の困窮を救う為山村の女主に二円の借り入れを願い出て承諾を得る。しかし約束の「大づごもり」12月31日、8歳の従弟・三之助が受け取りに来る日女主は、全く覚えはない、と言い捨てる。惑乱状態となったお峰は、掛硯の中から盗みだした二円を三之助に渡して死を覚悟するのだが…

おくやま まさこ

奥山眞佐子

(山梨県甲府市出身。文教大学文芸科卒)



黙読では得がたい樋口一葉小説を生演奏との会話形式で表現する「ひとり芝居」28年。
NHK【花子とアン】【夢みる葡萄】【とと姉ちゃん】他で山梨ことば指導。
NHK 視点・論点【一葉さんと私】では樋口一葉への思いを、【こびつとしちゃん】ではドラマ言葉（奥山命名）の課題を語る。
日本女性が参政権を得るまでの歴史書を執筆。【権利の上に眠るな・普選、婦選、そして18歳】
*神保町交差点近く SOLIDA にて販売中

日本新劇俳優協会会員、市川房枝記念会女性と政治センター維持員
*受賞：御園座社長演技賞／細うで繁盛記賞／第33回前田晁文化賞

<http://www.okuyama104.com/>

ひぐち いちよう

樋口一葉

(東京生まれ。両親は現在の山梨県甲州市塩山出身)



「女子にながく学問をさせなんは、ゆくゆくのためよろしからず」と当時の考え方に従い進学できず小学校高等科卒。その後、萩の舎で古典の教養を身に付け19歳で処女作「闇櫻」脱稿。近代の女性作家第一号の名声を得て、1896(明治29)年11月23日 24歳で生涯を閉じる。
1950年郵便切手の肖像に、2004年五千円紙幣の肖像となる。

ないとう みちよ

内藤眞代

〈箏〉

幼少の頃より、アララギ楽苑渡辺愁子氏に手ほどきを受ける。
第5回全国高校邦楽コンクール第1位受賞。
福井県文化協議会新人賞受賞。
NHK邦楽技能者育成会第46期卒業後、箏曲以外のジャンルにも参加。
現在、大久保スタジオM・小二田茂幸氏作品を中心に活動中。

箏〜koto ganpy〜 内藤 眞代 (hatenablog.com)



とちたに わかこ

栃谷若子

〈ヴァイオリン〉

4歳から故新谷純一氏の許でヴァイオリンを始め10歳よりジュニア・フィルハーモニック・オーケストラにてアンサンブルを学ぶ。東京音楽大学卒業。篠崎功子、故小国秀樹の各氏に学ぶ。フリーの奏者としてジャンルを問わずソロ、室内楽、オーケストラ、スタジオレコーディング、アーティストサポート、自主企画によるコンサート等幅広く活動。95年、参加していた飛鳥ストリングスよりCD「アスフォーデル」発表。(BMGビクター)
現在は太陽弦楽四重奏団にてベートーヴェン弦楽四重奏曲などに取り組む。



美術：佐々波雅子◆照明：須藤実◆作曲：小二田茂幸◆衣裳：高橋喜与子◆床山：武川卓男◆美粧：佳山みな◆舞台監督：稲元洋平

| staff | アナウンス：小町さなえ◆オペレータ：石井友美・小柳津洋子・出牛美香◆スチール撮影：史瀧

制作：川上よう子・松丸浩子・明間佐代子・野秋美和・西山正美・宮崎真澄◆デザイン：門馬幸恵

